

2019年5月20日

日本CRO協会 国内CRO協会会員の2018年業績を発表

総売上高は1,901億円、医薬品／医療機器／食品関連／臨床研究の売上は1,824億円（前年比102.6%）

一般社団法人日本CRO協会（東京都中央区、会長：植松尚 / 以下、日本CRO協会）は、同協会会員33社に対して2018年（1月～12月）の業績を調査し、この度、以下のとおり調査結果をまとめました。

2018年の日本のCRO業界の総売上高（同協会会員33社の合計値）は、1,901.3億円で、昨年同期の1,924.5億円に対して1.2%の減少となりました。但し、この減少は医薬品/医療機器/食品関連/臨床研究等に含まれない、CSO業務他、その他領域部分が分社化などにより会員総売上高から65.1億円、-35.5%減少したことによりです。総売上高に占める医薬品開発関連業務の売上は全体の91.5%を占め、昨年同期比2.8%増の1,740億円に達しました。また、医薬品／医療機器／食品関連／臨床研究の合計売上は46.5億円、2.6%増加し、1,824億円となりました。

医薬品／医療機器／食品関連／臨床研究の中で売上の57.6%占めるモニタリングは、4.1%増の1,050億円、データマネジメントは0.5%減の243億円、統計解析は、3.4%減の65億円、安全性に関するGVP関連(PV)は、8.2%増の186億円で、全体の10.2%を占めました。

医薬品開発関連業務のフェーズ別売上では、フェーズIIIが、昨年同期の714億円から4.3%増の745億円、フェーズIIは176億円で前年から12.8%、フェーズIは20.3%、増加しました。その他の業務内容別では、受託業務の内容及び数に目立った変化はありませんでした。

総従業員数は、17,133人で、128人減少。協会会員会社所属のCRA* (QC含む)は174人増加し7,339人となりました。

2019年度の新卒入社社員数は925名（2018年12月時点報告）となっています。

*CRA: 治験開発モニター、QC: 品質管理担当

モニタリング業務における疾病領域別プロジェクト数で多かったのは、腫瘍で、続いて代謝性医薬品、中枢神経系、感覚器官系の順となっています。プロジェクトのうち、マルチナショナルスタディーは32.8%、EDCは65.9%の割合となりました。

モニタリング業務プロジェクトのフェーズ別割合は昨年とほぼ同様でありました。

日本CRO協会は、今後とも、患者様に一日でも早く新薬をお届けするために、製薬企業をはじめ医療・医薬品業界に対して、会員各社と一丸となって、医薬品開発プロセスの専門的なノウハウと品質の高いソリューションサービスを提供して参ります。

以上

報道機関からのお問合せ先

一般社団法人日本CRO協会 事務局

TEL:0120-353-125（フリーダイヤル）FAX:0120-353-126（フリーダイヤル）

メールでのお問い合わせ：info@jcroa.or.jp